

EchoLink の会議室サーバ 「thebridge」の開設と運用

thebridge (プログラム名 tbd) は、複数の EchoLink ユーザが同時に接続できるコンファレンス (会議室) サーバ・プログラムです。通常の EchoLink ソフトで Allow Conferences の設定数を増やすことにより、最大 99 局が同時に接続して QSO することができます。thebridge は、同時接続局数を回線次第では数百以上にできるだけでなく、コマンドにより複数のユーザ (sysop) でコンファレンスを管理できます。

■ 動作環境

対応 OS は、FreeBSD, Linux, QNX, Mac OS X, Windows, Posix となっています。本章では Windows 2000 でのインストールから運用方法までを説明します (Windows なら同様の手順)。README.txt には Windows95 でも Winsock2 (TCP/IP Socket) をアップグレードすることにより動作すると書かれていますが、安定性を考慮すると Windows 2000 以降を使うことをお勧めします。

コンファレンスを立ち上げる場合、気をつけなければならないのは、EchoLink と同様にグローバル IP アドレス (Port : 5198, 5199, 5200) を使用するので、すでに EchoLink を運用している場合はほかに回線を用意するか、EchoLink での参加は外部の EchoLink Proxy を利用する必要があります。

■ インストール開始

コンファレンス・サーバ立ち上げの流れを図 10-1 に示します。

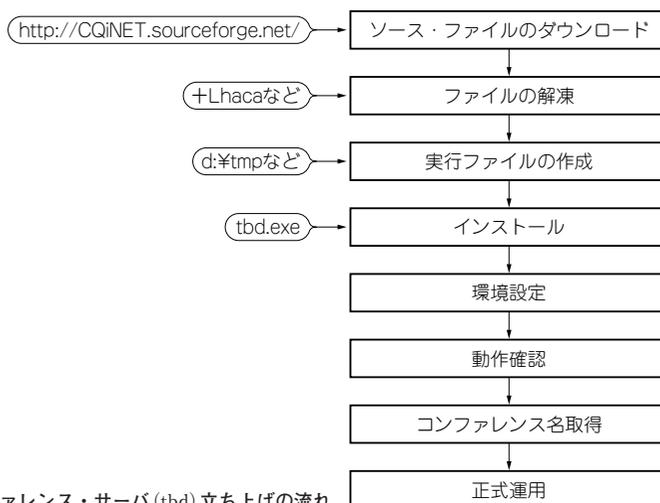


図 10-1 コンファレンス・サーバ (tbd) 立ち上げの流れ